

前十字靭帯再建術後動画指導導入前後の再断裂の比較

○長谷 拓也¹⁾ 渡辺 裕介¹⁾ 中畑 晶博¹⁾

湯朝 友基²⁾ 張 敬範²⁾ 江本 玄²⁾

1) 江本ニーアンドスポーツクリニック リハビリテーション部

2) 江本ニーアンドスポーツクリニック 整形外科

【はじめに】

前十字靭帯（以下：ACL）損傷予防プログラムは、複数の要素を組み合わせることで ACL 損傷率を減少させる。しかし、どの要素が ACL 損傷率減少に有用であるか議論の余地があるとされる。ACL 再断裂予防の取り組みの強化として、2 年前より動画による指導を退院時、定期診察時、抜釘術後に行っている。

【動画内容】

- ・膝関節の構造とその外傷、障害
- ・ACL 損傷とは
- ・ACL 損傷が発生しやすい動作など

【対象】

2006 年 5 月から 2011 年 11 月の期間に ACL 再建術を施行した症例

510 膝

（内訳）

- ・骨付き膝蓋腱（以下：BTB）275 膝
- ・半腱様筋腱、薄筋腱（以下：STG） 235 膝
（1 ルート297 膝、2 ルート213 膝）

ACL 再断裂の割合（術側）

510 膝中 31 膝（6.0%）

※不慮の事故にて 2 膝は除外

（原因）

- ① 自転車乗車中の転倒
- ② バイク乗車中の転倒

『前十字靭帯再建術後動画指導導入前後の再断裂の比較』

比較症例数：29 膝

(内訳)

- 性別.....男性：14 膝、女性：15 膝
- 年齢.....平均 19.7 歳 (15～58 歳)
- 移植腱

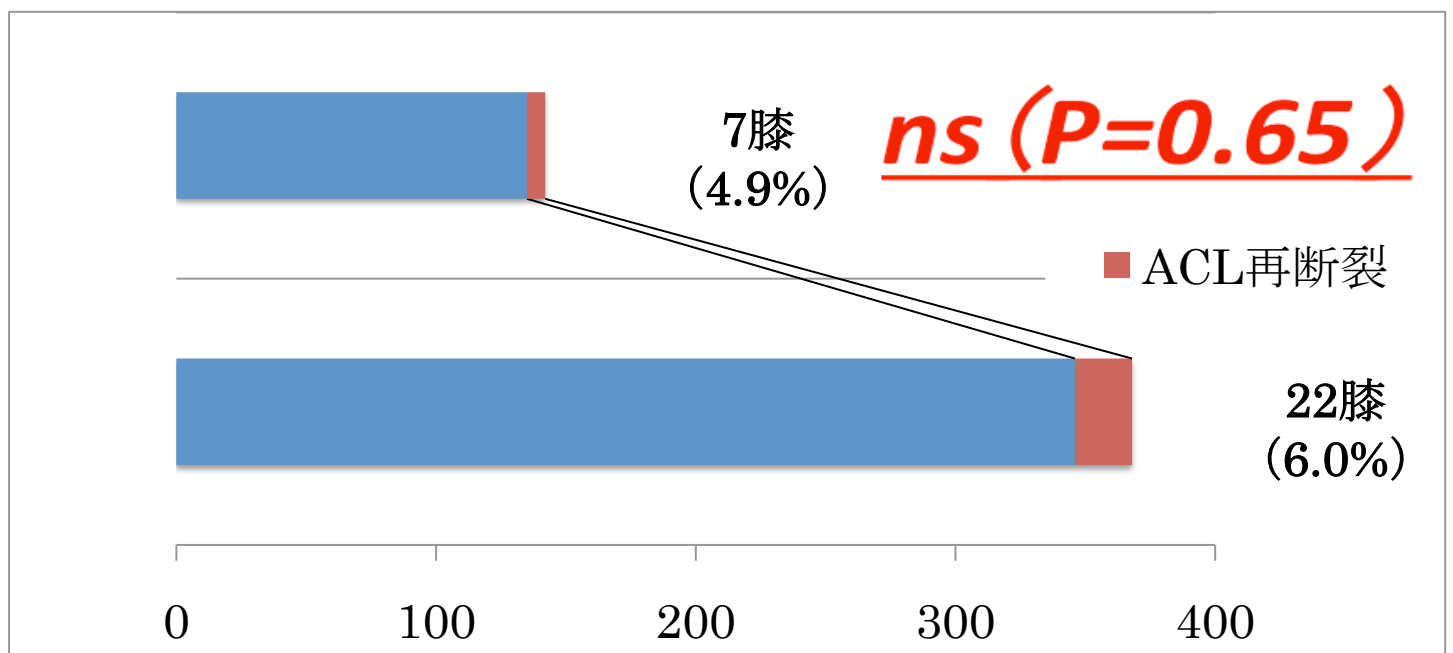
	BTB	STG	計
動画指導導入前	17	5	22
動画指導導入後	5	2	7

【方法】

ACL 再建術後動画指導導入前後の再断裂発生件数をカイ 2 乗検定にて比較検討し、有意水準 5%とした。

【結果】

『前十字靭帯再建術後動画指導導入前後の再断裂の比較』



【考察】

Ettlinger

スキーインストラクター、パトローラーに ACL 受傷回避動作を動画にて指導し、
損傷発生率が低下。

受傷シーンの動画を見せる目的として、ACL 損傷に対する認識を高め、損傷を避ける動作を
身に付けさせる。

(Am J Sports Med.1995 Sep-Oct;23(5):531-7)

ACL 受傷動作を認識させるために動画を用いて、患者自身の理解や意識を高めさせ、
今後も患者への啓蒙が必要である。

【まとめ】

- ・ACL 再建術後の動画指導導入前後の再断裂率の比較を行った。
- ・動画指導による再断裂率は統計学的に有意差を認められなかったが、患者自身が ACL 受傷
肢位メカニズムの理解を深めることは必要であると考ええる。